

東京2025世界陸上出場に伴うメキシコ選手の事前合宿の受入について

1 要旨・目的

9 月 13 日から 21 日まで東京で開催される「東京 2025 世界陸上」出場に向けて、メキシコの砲丸投選手が広島で事前合宿を行ったので、概要を報告する。

2 現状・背景

東京 2020 オリンピックにおいて、県内の 10 市町で 399 人のメキシコ選手団が事前合宿を行ったレガシーとして、2022 年 3 月に、広島県とメキシコオリンピック委員会が締結した交流協定に基づく、初めての受入となった。

3 概要

(1) 受入期間

令和 7 年 9 月 1 日（月）～9 日（火）

○選手団：ウージェル・ムニョス選手(パリオリンピック男子砲丸投 8 位)

アレハンドロ・ラベルデスクコーチ

フランクリン・コルドバ理学療法士 合計 3 名

○合宿日程及び場所

9/2(火)～5(金)、8(月)	Balcom BMW Stadium(広島市西区観音新町 2-11-124)
9/6(土)	東広島運動公園陸上競技場（東広島市西条町田口 67-1）

(2) 知事表敬

○日 程 令和 7 年 9 月 2 日（火）

○場 所 県庁北館 2 階 第一応接室

(3) 高校生との交流

○日 程 令和 7 年 9 月 3 日（水）

○場 所 広島県立西条農業高等学校グラウンド（東広島市鏡山三丁目 16-1）

○内 容 西条農業高等学校の陸上部の活動に参加し、高校生と交流

4 予算（単県）

960 千円

